

## 第57回加西市公共交通活性化協議会 協議結果

### ■第57回加西市公共交通活性化協議会の開催状況

#### ○開催日程

令和7年6月17日（火） 10:00～12:03

#### ○開催場所

加西市民会館3階 小ホール

#### ○協議参加者

21名（委員19名 オブザーバー2名）

#### ○傍聴者

1名

### ■協議結果

#### ○協議事項1 「加西市公共交通活性化協議会規約の改正について」

全会一致により承認

#### ○協議事項2 「加西市地域公共交通計画の令和6年度実施状況の確認について」

全会一致により承認

#### ○協議事項3 「令和6年度事業報告及び収支決算について」

全会一致により承認

#### ○協議事項4 「令和7年度事業計画及び収支予算（案）について」

全会一致により承認

#### ○協議事項5 「令和8年度地域公共交通計画認定申請について」

全会一致により承認

#### ○協議事項6 「地域主体型交通の更新登録について」

全会一致により承認

#### ○協議事項7 「コミュニティバス路線・ダイヤ見直しの具体案について」

全会一致により承認

■会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
<p>議長 全員  専門委員  事務局  議長</p>	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 報告事項</b></p> <p><b>(1) 加西市公共交通活性化協議会規約の改正について（資料1）</b> （事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市公共交通活性化協議会規約の改正について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> <li>・異議なし</li> </ul> <p><b>(2) 加西市地域公共交通計画の令和6年度実施状況の確認について（資料2）</b> （事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 p.4 の中ごろに、「基本方針2：利便性の高い公共交通結節点の整備」の目標があり、その中に令和5年度と令和6年度の達成状況の数値が示されている。また、表の一番右には令和5年度から令和6年度にかけての傾向を矢印で示されているが、「バスーバスの乗り継ぎ者数」の欄を見ると、令和5年度は3,754人/年であり、それが令和6年度では3,732人/年とやや減少となっているため、傾向としては下矢印になっている。この傾向とは、前回比較だけではなく、全体として増加しているのか、減少しているのか、横ばいになるのかという視点から傾向を設定するべきではないかと思う。この「バスーバスの乗り継ぎ者数」で言えば、どちらかと言うと横ばいとした方が妥当ではないかと思う。その視点で他の頁を確認すると、p.3「基本方針1：みんなが利用しやすい公共交通網の構築」の目標としてコミュニティバス等利用者数の令和5年度、令和6年度の実績値を示しているが、この数値の差分は先ほどのバスからバスの乗り継ぎ者数よりも大きくなるが、比率としてはマイナス1%程度であり、1%は概ね誤差のうちになるため、この場合は横ばいといった方が良いのではないか。</li> <li>・専門委員から指摘頂いたとおり、傾向ということであれば1%程度の軽微な増減を見るのではなく、全体としての傾向として見るならば、横ばいであるとするべきだと思う。今回の資料の様に、令和5年度と令和6年度の数値を比較するならば傾向ではなく前年比と記載するべきである。傾向と前年比が混同してしまっているため、再度、表記の仕方を整理させて頂きたい。</li> <li>・矢印の角度がきつすぎるのではないか。色は青のままで良いと思うが、角度をもう少し平行になる角度にしなければ、数値が半減している印象になる。そのことに気を付けるだけで理解しやすくなるのではないか。</li> </ul>

A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 p.5 の「基本方針3：地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進」の目標では、現状値が令和4年度であるのに対して、目標値はその5年後にあたる令和9年度に設定されている。一方で、令和6年度ではアンケート未実施となっており、数値が表示されていないことから、近々アンケートを実施する予定はあるのか。それによってこの目標値の見方も変わってくる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>表下の注釈にあるとおり、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」というアンケート調査があり、この調査は加西市の別の課が担当しているが、担当課より今年度の後半にアンケートを実施することを伝え聞いているため、来年度には数値を表示できると考えている。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果が分かれば、報告をよろしくお願ひしたい。資料 p.6 の「基本方針4：市外からの人も愉しみ回遊する公共交通での環境づくり」の目標に「ラストワンマイル交通利用者数」があるが、これは令和5年度の2,171人/年に対して、令和6年度では1,501人/年と右肩下がりになっている。表下のコメント欄に、「グリーンスローモビリティが導入された影響で運行形態が変化したため」と理由付けされているが、「ラストワンマイル交通利用者数」を指標とする目的として、市外からの来訪者のラストワンマイルの利用状況を確認するという意味があるため、出来れば参考としてグリーンスローモビリティの利用者数も追記して頂きたい。北条鉄道を利用して、グリーンスローモビリティを利用する人の程度の推定がつきやすくなるため、可能であれば補足で入れて頂ければ有難い。また、p.7の下表にある「コミュニティバス利用者1人当たりの行政補助額」について、10年程前から基準値が2,000円であったと思うが、10年前と現在を比較した場合、燃料費や運転手等に対するコストも含めて維持費が上がっているため、この金額の見直しをしていく必要がある。次の地域公共交通計画の改定の際に見直したら良いのか、見直しのタイミングは相談する必要はあるが、運行コストが社会的に上がっている状況に対して、加西市が公共交通を維持するために努力しているのかを確認出来るようにしておいた方が良い。また、同頁の上記の表に近畿圏パーソントリップ調査結果の数値が示されているが、近畿圏パーソントリップ調査は10年毎になるため、令和3年近畿圏パーソントリップ調査結果の数値を現状値として用いると、現状から目標に対して年数に大きく隔たりが出来てしまうそこで、追加的なアンケート調査の方法・工夫などについて今後考えなければならないという議論がされている状態である。その議論の結果も鑑みながら、今後は他の検証方法も考えなければならない。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>加西市地域公共交通計画の令和6年度実施状況の確認について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> </ul>

全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし</li> </ul>
議長 全員	<p><b>(3) 令和6年度事業報告及び収支決算) について (資料3・参考資料)</b> (事務局より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業報告及び収支決算について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> <li>・異議なし</li> </ul>
A 委員	<p><b>(4) 令和7年度事業計画及び収支予算 (案) について (資料4・参考資料)</b> (事務局より資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4-参考資料の「施策・事業別の実施時期」にある施策9の事業②に、「市民や観光客が集う主要施設に公共交通情報の掲示」として「鉄道・バス時刻表及びタクシー番号の集客施設への掲示」とあるが、このタクシー番号の表示はどの程度の範囲を考えているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、具体的にどの様にタクシー情報を提示するのかは精査が出来ていない状態である。現在、「NAVIGO かさい」で掲示しているタクシー情報としては、加西市内のタクシー事業者の案内と電話番号等の簡単な情報しか掲示していない状態であり、タクシー事業者側とも相談が出来ていない状態である。タクシー事業者とは、コミュニティバス事業者と連携するための相談を行っている状況であるため、その中で所有するタクシー台数等、どの程度まで情報提示を行うかは今後検討させて頂きたい。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私はタクシー事業者である以上、加西市の交通に関しては責任を感じている。公共交通活性化協議会においてタクシー情報の掲示内容を決定する際には、事前に相談頂けるようお願いしたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この様にすれば情報がコンパクトで理解しやすいといった意見があれば、委員の皆様からご教授頂ければ有り難い。</li> </ul>
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市内にはタクシー事業所が1箇所あるが、その事業所はタクシー協会の東播支部組織に加入はしていない。隣接市町にはいくつかタクシー事業者もあるため、利便性を考えてどの程度の情報を掲示するのか気になったため、意見を述べた。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市民に理解しやすいタクシーの情報を提供してもらえれば有難い。</li> </ul>
議長 全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業計画及び収支予算 (案) について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> <li>・異議なし</li> </ul>

<p>B 委員</p> <p>議長</p> <p>議長</p> <p>全員</p>	<p><b>(5) 令和 8 年度地域公共交通計画認定申請について（資料 5）</b></p> <p>（事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 p. 18 の「地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組内容」のタイトルにある年度は、令和 7 年度ではなく令和 8 年度の誤りである。また、令和 8 年に生産性を向上させる取組として、姫路～北条線の法華山一乗寺経由が入っていないため、追記して頂きたい。</li> <li>追記した内容で、委員の皆様にも共有して頂きたい。また、申請内容についても修正して頂きたい。</li> <li>令和 8 年度地域公共交通計画認定申請について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> <li>異議なし</li> </ul>
<p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>議長</p> <p>全員</p>	<p><b>(6) 地域主体型交通の更新登録について（資料 6）</b></p> <p>（事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「宇仁ふれあいバス」と「とみバス」の両方とも運転士が 1 名ずつ減少しているが、これは何故か。</li> <li>「宇仁ふれあいバス」と「とみバス」の運転士は、高齢による体調面や運転に対しての不安があり、今回引退をする形になった。</li> <li>地域公共交通の利用促進も重要であるが、地域公共交通を支える側の運転士の次世代の参入、世代交代が円滑に出来ることも重要になる。</li> <li>地域主体型交通の更新登録について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> <li>異議なし</li> </ul>
<p>議長</p>	<p><b>(7) コミュニティバス路線・ダイヤ見直しの具体案について（資料 7）</b></p> <p>（事務局より資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>元々の検討目的として、路線評価で経済性評価、公共性評価ともに低く、抜本の見直しが必要となったねっぴ～号国正線をどうするべきかというところから議論が始まり、委員の皆様からも様々な検討を頂きながら、令和 8 年 10 月頃を目標にルート変更を行うことになる。ルート変更までにはまだ期間があるため、ルートを変更することによってどの程度の影響があるのかを考えることが出来る。例えば、ルート変更により障がい者の方が通勤しやすくなった等、どの様な目的のどの様な移動がどの様に変化したのかを検証していくことが非常に重要になってくるため、今後はその確認も必要であり、公共交通活性化協議会でも議論出来ればと思う。</li> </ul>

C 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が所属する NPO 法人加西市国際交流協会は、普段は外国人労働者や外国人居住者の生活相談、日本語教室等を行っている団体である。加西産業団地でも就労されている外国人がいると思うが、最近では家族で滞在する外国人の方も多く、加西インター産業団地の例で言うと、兵庫県外から転居されて中富地区の雇用促進住宅に住まれている外国人の方は多い。このような方々は、県外から働きにきて、交通の便が悪いことや、自家用車が無いため移動しにくいなどの理由で、定住せずに転職するという方もいるため、加西工業団地までのバス運行は、外国人居住者にとって良いのではないかと思います。また、令和 7 年の事業計画でバスの乗り方教室の開催が記載されているが、どのような方が対象になるのか。高齢者向けのバスの乗り方教室は既にあるかもしれないが、外国人居住者で家族滞在の方になると、ご主人は自動車を運転出来るが、奥様は自動車を運転出来ないという方が大勢いる。外国人向けのねっぴ〜号の乗り方の講座があれば良いと思う。国内外の人種に関わらず、ねっぴ〜号国正線を利用すれば、北条市街地まで出掛けることが出来、買い物にも不便しないといった講座があれば国際交流協会としては有難い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市が実施しているバスの乗り方教室の対象は、幼少期からバスに慣れ親しんでもらうことを想定して小学生を対象としている。C 委員の発言のとおり、大人でも公共交通を利用したことが無い人がいるため、バスの利用の仕方が分からないことや、どのようなルートがあるのかすら分からないという方がいる場合もあると思う。この点を踏まえ、新たな利用者確保のために、今からでも利用出来る方や現在の生活に活用してもらうために、バスの乗り方教室や告知方法等を新たに検討したいと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近では、成人や高齢者に向けたバスの乗り方教室も増加傾向にある。児童なら小学校やバス事業者に協力依頼をすれば良いので、比較的容易に開催出来るが、成人を集めたバスの乗り方教室は困難かと思う。しかし、そのような機会があれば、ぜひ国際交流協会とも協力出来ればと思う。地域公共交通は基本的に運転免許証を持たない人が対象になるため、地域公共交通利用促進のためには、C 委員の発言のとおり、外国人労働者は非常に重要な需要となる。例えば、滋賀県では、郊外に多数工場があり、工場に通勤する大勢の外国人労働者は鉄道・バスで通勤している。こういった事例もあるため、加西工業団地等の企業側と連携して、バスの乗り方教室を行うことが有効であると思う。また、この機会に外国人から加西市に転入届等が申請された際などに、公共交通での移動方法を示した A 4 サイズの用紙 1 枚に収まる程度で簡易的に作成して渡せば良いのではないかと思います。加西市と委員の皆様の協力があれば、加西市民に喜ばれる仕組みづくりが出来るのではないかと思いますので、今後、相談頂ければ有難い。</li> </ul>
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、国際交流協会がどのような活動を行っているかまでは把握出来ていないが、私</li> </ul>

	<p>自身が海外に行った際には、地域コミュニティや学生なら学校の中で交流を持つなどの集まる機会を設けた。国際交流協会の主催で開催される催しなどの外国の方が集まる機会や活動の場で、外国人に向けてバスの乗り方教室があることを説明して頂くといった方法もあるのではないかと思う。積極的にこのような機会が設けられるなら非常に良いと思う。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人向けの乗り方教室は、今までにない視点である。地域経済の活性化という点においても、非常に重要な取組であると思われる。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>北条鉄道では、網引駅や田原駅の外国人の通勤定期券利用者が増加している。学生や一般人の数には及ばないが、今後利用を増やしていくべき対象だと考えている。そのため、加西工業団地に限らず、加西インター産業団地や加西東産業団地でも、通勤利用者として外国人労働者の利用を取り込む想定が出来れば良いと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>北条鉄道で、外国人労働者に向けた定期券購入方法についての多言語表記があれば非常に良いと思う。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人労働者が一定数従事している企業では、外国人の先輩から、定期券購入用紙への記入方法を教えてもらえることがあるため、定期券購入に困ることはないと思う。この習慣を世代で繋いでいければ良いが、途中で途切れてしまえば、定期券購入も困難になると思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>その様な先輩がいない場合に役に立てるのが、公共交通活性化協議会に参加頂いている委員の皆様だと思う。誰に相談すれば問題が解決するのかを理解出来るだけでも、気持ちが全然違うと思われる。北条鉄道では、外国人利用者の増加は非常に重要な情報である。ぜひ、今後とも外国人のニーズを拡大していければと思う。</li> </ul>
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在自治体や公的機関等でも、日本語だけでなく、様々な言語で情報を周知することが求められているが、加西市の地域公共交通や「NAVIGO かさい」では対応しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「NAVIGO かさい」では、多言語対応を実施しており、英語への切り替えが可能である。</li> </ul>
専門委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語での公共交通情報の周知や、外国人からみた視点など様々な観点があるが、委員の皆様協力頂ければ非常に有難い。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>北条鉄道では、多言語表記への対応は出来ていないが、国からの補助を受けて、車内放送にて英語・中国語・韓国語・日本語の4ヶ国語でのアナウンスを行っている。しかし、この4ヶ国語でのアナウンスはインバウンド対応のものであるため、実際に加西市に居住している外国人向けの対応とは少し異なる。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンド対応と並行して、外国人居住者向けの多言語対応が出来れば良いと思う。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティバス路線・ダイヤ見直しの具体案について、協議が整ったことで承認頂けるか。</li> </ul>

<p>全員</p> <p>加西市文化スポーツ課員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし</li> </ul> <p><b>3 報告事項</b></p> <p><b>(1) 総合運動公園の基本構想・基本計画について（資料8）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加西市でこれから整備を考えている総合運動公園について説明する。現在、加西市文化・スポーツ課では、陸上競技場や多目的広場、総合体育館などを備えた総合運動公園の整備に向けた構想の立案とその計画を策定中である。整備予定地は加西市の南部、両月町の善防グリーンパークと善防中学校のある一帯となる。最寄りの公共交通機関として、北条鉄道の播磨下里駅や神姫バス宝殿北条線の王子町バス停などがあり、北条鉄道播磨下里駅からは直線距離で約850メートル、宝殿北条線の下里農協前バス停からは徒歩で約1.2キロ18分の場所となっている。</li> <li>・災害時には防災拠点の機能を備えた広域的な大会の開催などを想定した陸上競技場であり、近隣に芝生広場や大型遊戯を設置した多目的広場や多目的グラウンド、スケボーパークなどのアーバンスポーツ施設やスポーツ以外のイベント活用も想定した大型アリーナを設置予定である。</li> <li>・スポーツをする市民だけでなく、子育て世代、若者から高齢者の憩いの場として、また広域的な大会の開催、合宿の誘致などをスポーツツールに通じた関係人口の創出、プロスポーツの試合も開催可能な施設として整備し、幅広い世代、多様な関係者が集まる拠点を目指している。</li> <li>・整備スケジュールとしては、陸上競技場は令和12年度、総合体育館等は令和14年度の供用開始を予定している。現在、6月1日から25日までの期間で、パブリックコメントを実施している。このパブコメを経て、7月末に基本構造と基本計画を完成させる予定である。今後、施設までの公共交通導入の検討について政策課と連携して進めたいと思っているので、協議会委員にはご協力をお願いしたい。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に期待できる計画だと思う。今後、うまく連携していきたいと思う。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p><b>(2) 加西市地域公共交通シンポジウムの開催について（資料9）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度に、加西市の地域公共交通を考えるというタイトルでシンポジウムを開催する予定としている。開催趣旨としては、加西市における公共交通の現状について、市民へ広く認知及び利用促進を図ることを目的としている。日時としては、令和7年11月9日日曜日、昼2時から4時を考えている。場所はアステアかさいの地域交流センター、多目的ホールを想定している。北条鉄道と近接している場所であり、北条鉄道が令和7年に40周年記念を迎えることから、連携して加西市の地域公共交通を知ってもらいたいと考えている。主催者は加西市であり、一般財団法人自治総合センターからの助成を受けて実施する形になっている。加西市公共交通活性化協議会は協賛団体として関わっていく予定である。</li> </ul>

議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身、兵庫県内外問わず、各地方自治体の協議会に出席させて頂いているが、加西市は非常にユニークな市である。どの点がユニークかという点、北条鉄道の存在やsora かさいという立派な集客施設・公園があることが挙げられる。また、様々な地域主体型交通の取組を行っており、導入の手引きの作成を非常に早い段階で行っていることも挙げられる。また、社会的な問題で人口が右肩下がりに関わらず、コミュニティバスの利用者数はU字回復をしている。この様な点を踏まえると、同じ条件に当てはまる他の市町村は容易に見当たらない。この点をもっとアピール出来ればと思っていたため、このシンポジウムは加西市を理解して頂くには非常に重要な機会である。是非、委員の皆様のスケジュールにも、11月9日のシンポジウムの予定を追加して頂きたい。</li> </ul>
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウムの協賛団体に北条鉄道は入っていないが、北条鉄道としては今年40周年を迎え、前身の播州鉄道から数えると110周年を迎える。毎年10月に北条鉄道が開催している「北条鉄道まつり」を同日11月9日の日曜日に開催させて頂き、シンポジウムの共催に協力したいと考えている。北条鉄道の40周年に併せて、エポスカードと連携協定して北条鉄道の写真の入ったクレジットカードの発行を行い、そのクレジットカード利用者の利用額のうち何%かを北条鉄道に寄付して頂く計画を検討している。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条町駅に掲げられている「北条鉄道の応援は年に1回の利用から」という垂れ幕のスローガンは素晴らしいと思っており、私も様々な場所でその写真を使わせて頂いている。北条鉄道は加西市民に応援される存在なので、この様な取組は非常に良いと思われる。シンポジウムと北条鉄道まつりの様な共催であれば、午前中は北条鉄道まつりに行き、午後からシンポジウムに参加するなど、1日中楽しめるため面白いと思う。</li> </ul>
専門員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど議長からお話があったとおり、加西市は非常にユニークな市である。他都市でもより充実した地域公共交通の確保に向けて懸命に取り組んでいる市町村は多数ある。情報を伝達する方法は様々にあるため、オンラインなども含めて何らかの情報を発信することで、地域公共交通推進に向けて関心を持っている市町村の参考となり、加西市の取り組みに対する認知が広まるのではないかとと思う。</li> </ul>
事務局	<p><b>【次回協議会の開催について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第58回協議会は、令和7年10月頃の開催を予定している。</li> </ul> <p><b>4 閉会</b></p>